

桜ものがたり新聞

たくさんさんの桜の良い所

私たち、四年生は桜にはどんな良さがあるかについて調べました。

まず桜の良い所の一つ目は、花が綺麗な所です。花はきれいで心が落ち着いて、ほっこりします。少し嫌なことがあっても、綺麗な桜を見たら元気をもらえらると思います。

二つ目は桜で料理を作れることです。私たちは今年の四月に学校の桜で塩漬けを作りました。左下の写真を見てください。これは桜の塩漬け作りです。このように桜にはいいところがたくさんあります。少しでも桜を好きになってくれると嬉しいです。



桜の良くない所（枝）

この新聞では桜の良くないところを説明します。なぜ桜の良くない所を説明するんだと、思う人もいるかもしれませんが、桜の良くないところを説明してから改善策を説明することで桜の良いところをたくさん分かってもらえるからです。

桜の良くない所は二つあります。一つ目は枝がすぐ折れることです。鳥屋野瀉の桜などは、古いので枝が太くても少しの衝撃でも折れてしまいます。①②の写真のように道路に枝が落ちて危険です。事故につながる恐れがあります。

二つ目は、桜の根が道路にひびを入れてしまうことです。道路の下の根が空気を求めて上へ上へと上がり道路を破るからです。道路が割れて車がぶつかり事故になる可能性があります。

だから、このような良くないところを改善していく必要があります。



鳥屋野潟の桜の改善策

この新聞では桜の良くないところの改善策を説明します。

わたしたちは鳥屋野潟に三回行きました。一回目と二回目は観察をしました。三回目はごみ拾いや落ち葉拾いをしました。その三回全部に、大きな枝が落ちてきました。このように今の鳥屋野潟には良くないところがあります。そこから気づいたことをもとに、改善策を提案していきます。

まず、枝が落ちることは確認して毎回ひろえばいいと思いましたが、そして、道路の邪魔になるといふことも何日にやるかなどを決めて、邪魔になっていたら拾えばいいと思いました。

病気になってしまった桜は樹木医さんにみてもらったらいと思いましたが、例えば、キノコが生えている桜などのことです。

このように良くないことがあっても改善策があります。

鳥屋野潟の桜の改善策（葉）

他にも良くないところがあります。それは、桜の葉っぱが大きいので車に当たったり、視界がせまくなったりして、事故がおきるかもしれないということです。

そのための改善策として、まず葉が大きくなりすぎていたので、ときどき木の先を切れればいいと思いました。

しかし、それだと手間がかかりますし、自分たちでは勝手にできません。桜も傷付いてしまいます。だから、役所の人知らせて、端っこの木をロープで木の真ん中によせたらいいと思いました。

事故がおきないように改善されたら、みんなが安心安全に桜を楽しめると思います。

